

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |               |
|-------|---------------|
| 施設番号  |               |
| 施設名   | 東小岩おひさま保育園    |
| 施設所在地 | 江戸川区東小岩2-6-24 |
| 法人名   | 社会福祉法人えどがわ    |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

浮く・沈む

<テーマの設定理由>

水遊びの時に、おもちゃのザリガニが水に浮いた。当時、園で飼育していたザリガニは水に沈んでいるのに「どうしておもちゃは浮いて、本物は浮かないのか？」という気づき、疑問が活動のきっかけとなった。

## 2. 活動スケジュール

令和7年7月から令和7年11月まで

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・大きな水槽に水を張る。
- ・ブロック、プラスチックのカップ、ペットボトル、野菜（人参、ジャガイモ、など）
- ・模造紙に水槽のイラストを描き、試した素材の写真を「浮いたものは水面付近」「沈んだものは底」へ貼り付けいつでも見られるようにしていった。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

自分たちが遊んでいるおもちゃなど興味のあるものを水槽に入れてみる。  
保育士と話題にして日々楽しんでいた。ある日、給食中に食べている食材も「浮く？沈む？」と興味を示したことから野菜も試してみるなど関心が広がっていった。・保護者にも活動を紹介し、家庭から素材を持って来て登園時に保護者と水槽に入れて観察できるように環境を整えると楽しむ姿がみられた。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは「浮く」「沈む」という自然現象を体験的に理解し、繰り返し試しながら探究を深めていた。物の性質や状況によって結果が異なることを感覚的に理解する経験にもなった。今後は「大きさや形の違い」「同じ素材でも条件を変えるとどうなるか」といった発展につなげていきたい。

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|       |               |
|-------|---------------|
| 施設番号  |               |
| 施設名   | 東小岩おひさま保育園    |
| 施設所在地 | 江戸川区東小岩2-6-24 |
| 法人名   | 社会福祉法人えどがわ    |

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音

<テーマの設定理由>

ハンドベル演奏の活動から、音に対して高い低い、音階があることを知り、身の周りのものがどのような音がするのか疑問を感じたことから音に対する探求を始めた。

## 2. 活動スケジュール

令和7年11月～令和7年12月まで

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

木琴、鉄琴、太鼓、大太鼓のばち、ガラスのコップ8個、ハンドベル  
・ 様々な楽器のばちをテーブルの上に置いて、好きなバッチを選び取り、保育園内を自由に移動して様々な物を叩けるようにした。  
・ ガラスのコップ、ペットボトルに入れた水、木琴のばちを用意して、自由にコップに水を入れてコップの音色の違いを感じ取れるようにした。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

一人一つばちを持って保育園内を自由に移動をして様々なものを叩いて自分の好きな音を探しに行った。窓、階段、床、テーブルなど素材によって音の鳴り方の違いを感じたり、音を身近な楽器の音に見立てながら叩いていた。コップに水を入れて音色を感じる活動では、木琴や鉄琴を用意して実際の音階を聞きながら同じ音色を探したり、コップの音からきらきら星を演奏して楽器として遊んだ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

ばちを持って様々な音を探しに行くと、素材によって音が似ていることに気が付いていた。「これは鉄だから高くてきれいな音がする」「段ボールは低い音で太鼓みたいな音」「階段の床は叩いても全然音がしない…何でだろう」「大太鼓のもこもこのばちも何を叩いてもあまり音がしない」と音が響かない素材があることに気が付いていた。そこから音の響き方について疑問が生まれたようで、図鑑を見て「音が聞こえる」仕組みについて調べると、音は振動によって音が耳に伝わる事がわかった。8個のコップを使った活動では、保育士と一緒に何も入っていないコップの音を楽しんだ後に、水を入れてみた。音の変化をすぐ感じ取り「水を入れたら低い音がした」「「み」の音に似ている」などと音階を感じる姿が見られた。木琴や鉄琴を出すと、子どもたち自身で実際の音階を感じながら音作りが始まった。音階が出来上がったと感じると「きらきら星」の演奏をして遊んでいた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

ばちを使った好きな音を探しに行く活動では、鉄は高い音になり、段ボールは低い音がするように材質によって音が変わる事や、叩くばちの材質でも音が変わる事に気付くことができた。コップを使った音階作りでは、水の量が多ければ低い音、水の量が少なければ高い音が鳴ることがわかり音階を感じ取るとコップを楽器として演奏を楽しんだ。

子どもたちは身近な音を音階として捉えて演奏や歌を思い浮かべていた。

又、これまで音階を視覚で捉えていたと感じていたが、聴覚からも感じ取っていることがわかった。音を感じ取る活動から、音の特徴やコップを使った楽器作り、音を聞くための耳の構造など、音に関する様々な知識を遊びを通して知る事ができた。